平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	ながら川ふれあいの森	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市三田洞字日向平211番地		
指定管理者名	株式会社 遠藤造林		
指定期間	平成24年4月1日~平成29年3月31日		
選定方法	✓ 公募	非公募	
料金制	☑ 使用料 □ 利用料	·金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	14,605,714円		
施設の設置目的	緑豊かな森林を保全し、都市の生活環境 体験を通して森林の有する多面的な機能 に資すること。		
施設概要	四季の森センター・キャンプ場・管理道・散	策路∙駐車場∙	街路灯等

●利用状況

		H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数(単位:人)		5,844	5,465	5,310	4,704	4,477
	多目的室	29.8	28.8	22.6	24.5	22.3
各室 稼働	キャンプ場	19.5	16.0	25.8	14.7	23.2
₩ ** *********************************						
(%)						

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項			履 行 状 況		
利用者 サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応		①仕様書に定められた勤務時間である午前8時30分から午後5時30分まで職員を配置している。 ②常時、窓口に職員を1名配置するとともに、施設の維持管理業務を行う職員を1名以上配置している。 ③広報ぎふや指定管理者が作成したホームページの他に地元自治会へ行事予定を配布し、散策会や森の音楽会、森林教室等の情報を提供している。 ④苦情については、四季の森センターの職員とも連携し、即対応している。			
自主事業・ 提案事業	自主事業・提案事業は行 ている「森林教室」及び「新 回数を実施する。				開催月 参加者 6月 100人 7月 90人 8月 130人 9月 80人 開催月 参加者 6月 20人	
	森の音楽会 森林教室	年3回 ————— 年4回	年7回 年9回		森林教室 7月 6人 8月 30人 9月 17人	

施設管理	①日常·定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④管理道、散策道の維持管理 ⑤その他	①日常清掃業務(トイレ・四季の森センターの簡易清掃等)を毎日実施。 指定管理者により対応が困難な清掃業務(雑排水管洗浄等)については、業者に委託し、定期的に実施。また、除草等も繁茂しないように管理している。②警備業務については、施設の維持管理を行う際に併せて実施するとともに、不定期ではあるが、森の守人によるパトロールを実施。 ③委託業者による点検を実施(年1回) ④施設の維持管理業務を行う職員による倒木の除去や除草作業等を実施。 ⑤数取器で入場者数の把握を行っている。(月1~2回)
区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	林業事業体としてのノウハウを生かし、施設利用 者からの指摘や日常管理での巡視により発見した 倒木や枯損木、支障枝の除去を速やかに実施して いる。
危機管理• 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護マニュアルを作成し、適正に取扱っている。 ②緊急時連絡網と対応マニュアルを作成し、必要に応じ変更追加している。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

●利用者評価				
利用者アンケートの 実施状況	・窓口にアンケート及び回収箱を設置。職員が駐車場でアンケートを配布。 ・森林教室、森の音楽会等のイベント、多目的室及びキャンプ場利用者に記入を依頼。 ・アンケート質問項目(別紙参照)			
	回収総数 88枚			
	「性別」および「年齢」			
	20代以下 30代 40代 50代 60代 70代以上 無記入			
	男 4人 1人 2人 10人 18人 4人			
	<u>女 1人 2人 0人 8人 17人 20人 </u> 「どのように知ったか」			
	広報ぎふるの他広告物(インターネット 友人・知人)その他 無記入			
	約31% 約12% 約6% 約38% 約9% 約4%			
	「誰と一緒に利用する			
	ひとり │ 家族 │ 友人 │学校関係 会社関係 その他 無記入			
	約29% 約33% 約31% 0% 約1% 約1% 約5%			
	「ホームページの閲覧」			
	ある ない 無記入 ***********************************			
	<u>約24% 約66% 約10% </u> 「見やすさ」			
	見やすい見づらいとちらでもない無記入			
	約71% 約5% 約14% 約10%			
	「分かりやすさ」			
	良く分かる 分かりづらい どちらでもない 無記入			
	約62% 0% 約10% 約28%			
	「職員の対応」			
利用者アンケートの	大変満足やや満足・普通・やや不満・大変不満・無記入・			
実施結果				
	「他設の官理人法」 大変満足 やや満足 普通 やや不満 大変不満 無記入			
	「管理道の維持状況」			
	大変満足のやの満足の一番通りである。大変不満に表し、大変満足のでは、大変の表し、大変のまし、大変の表し、大変のまし、大変の表し、大変の変なの、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変の表し、大変を、大変なり、大変なり、大変の変なり、大変なり、大変なり、大変なり、大変なり、大変なり、大変なり、大変なり、大			
	約43% 約35% 約15% 0% 0% 約7%			
	「歩道の維持状況」			
	大変満足やや満足・普通・やや不満・大変不満・無記入・			
	「トイレ・避難小屋の状況」 - 「大本来見しかまり」 並ほ 【からて来した本で来し無言! 】			
	大変満足 やや満足 <u>普通 やや不満 大変不満 無記入 </u>			
	大変満足やや満足・普通・やや不満・大変不満・無記入			
	約46% 約28% 約18% 約1% 0% 約7%			
	「利用目的」			
	イベント等 散策 キャンプ 野鳥 自然観察 写真撮影 その他 無記入			
	<u> 約49% 約20% 約4% 約6% 約6% 約4% 約3% 約8% </u>			
	(主な意見) ・音楽イベントがあったらまた来たいです。			
	・音楽イベントがあったらまた末たいです。 ・幸福な時間をありがとうございました。			
	・森の音楽会素晴らしいです。			
	利用者から寄せられた意見等に対しては、職員研修の実施など、回答した内容を速やかに対応するよう指導			
	している。			
	(主な意見と対応)			
	・前の竹藪がテングス病にかかっています。早く処理を。			
	(⇒今年度市において、森林・環境税を活用し竹林を伐採する予定です。)			
	・犬を連れてくる人のマナーが良くない。野放し状態の方がいるので、看板など設置して欲しい。			
	(⇒見かけた場合は口頭にて注意を促していきます。また、市においてマナー啓発看板設置を検討しています。)			
利用者からの	・ ホームページの更新、四季折々に。			
利用名からの 要望・苦情と	(⇒リニューアルを予定しています。)			
対処・改善	・森の音楽会、大正琴やマンドリンも来てほしいです。			
—	(⇒いろいろな団体の方に声をかけていく予定です。)			
	・森の音楽会、席取りはやめた方がいいです。			
	((⇒目に余る場合は注意をしています。)			
	・百々ヶ峰への案内、目印が少ないように感じた。			
	(⇒市において案内看板設置を検討しています。) 			

●指定管理者の選定基準に基づく評価

					評 伲	5
区 分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	指定 管理者	所管課	評価 委員会
		平等利用を確保するための体 制、モニタリングなど	利用者等から要望や改善点について意見を聞き、管理運営に反映する体制ができているか。	Α	Α	Α
公平性	住民の平等利	情報公開、広報の方策	利用規定や利用料金等の施設情報を広く市民に提供しているか。	Α	Α	Α
透明性	用が確保されること	その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	_	-	
			区分評価			Α
		既存業務の改善、工夫又は新 規の魅力的な提案の有無、内 容	森林教室・森の音楽会等既存の業務が改善され、新たな工夫・魅力の創出がなされているか。	Α	Α	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握 方法及び対応方策など	利用者からの要望・意見を集約し経営に反映させているか。	Α	Α	Α
		利用者に対するサービス向上 の方策(窓口応対、プロモーショ ン、設備の整備など)	利用者が期待するサービスを把握し提供できるか。	Α	Α	Α
効果性	事業計画書の 内容が、対象 施設の効用(設	利用促進、利用者増の方策	施設や、各種イベント等のPRに努め利用の拡大 を図っているか。	Α	Α	Α
別未住 置目 限発	置目的)を最大限発揮するものであること	サービスの質を確保するための 体制、モニタリングなど	質の高いサービスを提供するために職員の意識 を向上させているか。	Α	Α	Α
		施設の効用(設置目的)を最大 限発揮できるスタッフの配置	設置目的を深く理解し、管理運営に精通した職 員を配置しているか。	Α	Α	Α
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	_	
			区分評価			Α
		指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コストの 縮減に努めているか。	Α	Α	Α
効率性	事業計画書の 内容が、管理 経費の縮減が 図られるもので あること	収支計画の妥当性	収支計画と実績の対比を近づけるように努力し ているか。	Α	Α	Α
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費削減の方策を掲げ、努力している か。	Α	Α	Α
		スタッフ配置の妥当性(無理は ないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業 務ができるように配置しているか。	Α	Α	Α
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	運営方法の改善と広報活動によりイベント等を 増やして、利用者の増加に努力しているか。	Α	Α	Α
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	_	-	
			区分評価			Α

					評価		
区 分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	指定 管理者	所管課	評価 委員会	
		経営基盤の安定性	指定管理者本体の経営基盤が安定しているか。	Α	Α	Α	
		組織及びスタッフ(採用予定者も 含む)の経歴、保有する資格、ノ ウハウ、専門知識等	各職員の専門知識や経験が職務に活かされているか。	Α	Α	Α	
		スタッフ(採用予定者も含む)の 管理、監督体制	より良いサービスを提供するため、管理監督者 が決められているか。	Α	Α	Α	
治 安定性 安 安全性 的 能	事業計画書に 沿った管理を 安定して行う物	スタッフ(採用予定者も含む)の 人材育成の方策	人材育成のために、各種の研修等が実施されて いるか。	Α	Α	Α	
	的能力、人的 能力を有してい ること	リスクへの対応方策(防止策、 非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機 管理のための方策が確立されているか。	Α	Α	Α	
		リスクへの対応能力(資金力、 損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	Α	Α	Α	
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	_	-		
			区分評価			Α	
内容が、 市あるい 設がある。 の地域(「地元」と う。)のが 性化なと 献できる		地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元団体等の活動が活性化する可能性のある 管理運営に努めているか。	Α	Α	Α	
	事業計が、いは特別では、 事業であるが、は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地元の住民、高齢者、障害者等 の雇用	簡易な作業について、地元雇用に努めている か。	Α	Α	Α	
		地元での資材等の調達	施設における物品購入については、岐阜市内業者からの調達を原則としているか。	Α	Α	Α	
		地元での社会活動等への参加	地元自治会等との連絡協力体制が整っている か。	Α	Α	Α	
		その他地元への貢献に関すること	地元自治会等との連絡協力体制が整っている か。	Α	Α	Α	
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	_	_		
			区分評価			Α	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

●拍正官理者の収組のに	対9 句目に評価(及省、課題と解決束など)
今期の取組みに対する評価	森の音楽会や森林教室は好評であるため、回数を増やして対応した。内容についても好評をいただいている。 日々の巡回により枯木・倒木の早期発見、対応に努め、安全に散策してもらえるようにした。 安全柵の補修を積極的に行った。 各種行事(森林教室・森の音楽会・ボランティア活動等)については、積極的に協力・応援する ことができ、より良い行事にすることができた。 四季の森センターの周りの草むしり、清掃を重点的に行い、その結果として大変きれいに なっている。 職員が散策者に対し、積極的に挨拶をかわし応対することができた。
前回までの意見を踏まえた 取組み状況	昨年度に引き続き、管理道から遊歩道への入り口付近の草・木の枝を刈り、入り口をわかりやすいようにし、利用しやすいように努めた。 山火事防止のため、引き続き巡視パトロールの頻度を増やし、ラミネートによる表示を行い、利用 者に注意を促した。 ホームページについては、利用者が見やすいように作成し、新しい写真を掲載するなど、こまめに 更新するように引き続き心がけている。
今後の取組み	森林教室は一緒に散策して自然観察や植物についての説明を希望する方が多いほか、木の実を使用したリース作り、クラフト等も好評のため、今年度9回予定している。樹木銘板の設置についても利用者の要望があるため、森林教室の一環として取り入れていく。森の音楽会についても定員を超えることも多く大変好評であることから、要求水準年3回に対して年7回(うち1回は自主事業)開催予定である。アンケートの回収と意見の記入を増やすため、手渡しをするなど工夫を続けていく。キャンプ場の利用者増加のために、周辺環境の整備を行っていく。また、枯木、不要木の伐採を定期的に行い利用者の安全確保に努める。イヌの放し飼いがみられるため、発見時は声をかけ注意を促していく。薬木の広場、キャンプ場周辺は幼児の利用が多いため特に巡回に力を入れ危険の早期発見に努める。薪ストーブについては土日の終日及び森のようちえん活動等利用者がある日については、積極的に活用し、今年度は薪ストーブの前での森林教室も行う予定である。

●所管課の意見

全ての業務について概ね良好である。

・指定事業である森の音楽会については、既に要求水準である3回を超え4回開催し、今年度はあと5回の開催を予定しているだけでなく、毎回定員の80人を超える参加者があり、8月の音楽会においては130人もの参加者があるなど、要求水準以上の取り組みが行われており評価できる。また、森林教室についても、既に要求水準である4回開催し、樹木の解説を聞きながら散策する樹木銘板張りや、植物を題材にしたクラフト教室が行われて、参加者からも好評であり評価できる。

・施設内の展示については、季節にあった植物の写真への展示替えを行うなど、工夫されており評価できる。

・森のようちえん活動や各種ボランティア団体への活動支援については、活動前に講習を行ったり、活動の中でアドバイスを行うなど、継続的に行われており、活動団体からも好評であり評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

・以前より改善を要望してきたホームページについて、適正に改善されており、アンケート結果からも閲覧者が多いことが分かり 評価できる。今後もホームページ内容の充実に努められたい。

・指定事業である森の音楽会や森林教室については、要求水準を上回る取り組みが行われており、参加者も多く大変好評であり 評価できる。

・指定事業に加え、森のようちえん活動やボランティア団体のイベント等への支援や職員の対応についても、「森林の有する多面的な機能に関する理解を深め、健康的でゆとりある市民生活に資する」という施設の設置目的に対して大きく貢献しており高く評価できる。